

2017年9月1日

あなたの地域は大丈夫？スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」にて『減災診断』をリリース 今いる場所の「災害可能性レベル」を無料でスピード診断 ～“浸水想定区域”や“土砂災害想定区域”などマップ上で周辺の危険な場所をひと目で確認～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、防災の日である本日、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」にて『減災診断』をリリースしました。『減災診断』は、“浸水想定区域”と“土砂災害想定区域”をもとに、GPS機能を用いて現在地における「災害可能性レベル」を無料でスピード診断します。マップ上で浸水や土砂災害の恐れがある場所をひと目で確認できるため、災害リスクを最小限に抑えることができます。いつ、どこで起こるか分からない自然災害は、日頃からの備えが重要です。いざという時のため、ぜひこの機会に『減災診断』にて、自分の住む街や職場などの自然災害の発生危険度を把握していただくとともに、家族や職場の仲間と防災・減災について話すきっかけになればと思います。

『減災診断』はこちら

スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後、「おしらせ」からアクセス

◆今いる場所の「災害可能性レベル」を3段階で確認できる『減災診断』

ウェザーニューズが本日リリースした『減災診断』では、“浸水想定区域”と“土砂災害想定区域”をもとに、GPS機能を用いて現在地における「災害可能性レベル」を無料で診断します。浸水に関する危険性と土砂災害に関する危険度をそれぞれ3段階で表示し、どのような場所で災害が発生する恐れがあるのかがわかります。また、マップ上でどこに危険な区域があるのかひと目で確認できるため、災害リスクを最小限に抑えることができます。

さらに、地名などのキーワード検索にて任意の地点の情報を見ることができたり、大雨時には防災・減災の専門家の詳細な解説が閲覧できます(有料会員メニュー)。離れて暮らす家族が住む場所はもちろんのこと、引っ越しを考えている地域の「災害可能性レベル」を事前に確認することも可能です。スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」内「おしらせ」からアクセスいただけます。

いつ、どこで起こるか分からない自然災害は、日頃からの備えが重要です。いざという時のため、ぜひこの機会に『減災診断』にて、自分の住む街や職場などの自然災害の発生危険度を把握していただくとともに、家族や職場の仲間と防災・減災について話すきっかけになればと思います。

※ 低位地帯と土砂災害危険箇所は、国土数値情報 (<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>) のデータです。
※ 国土数値情報の低位地帯および土砂災害危険箇所を、ウェザーニューズにてマッピングしたものを浸水想定区域および土砂災害想定区域としています。



『減災診断』画面サンプル